

もし、私がガンになったら・・・

私は2018年に父親をガンで亡くしました。医者嫌いな父親はずっと医者に行くのを拒否していましたが、どんどん体力が無くなり、さすがに医者に連れて行った時にはステージ4の末期ガンでした。年齢も年齢だったので(当時82)手術や抗がん剤は体力が持たないとのことで結果ホスピス入りでした。いわゆる緩和ケアです。

父親の緩和ケアについては機会があればお話しするとしまして、結果ホスピスに入っ  
てわずか1週間で他界しました。

私はこの頃、ガンについての知識や健康についてのことなど全くわからなかったので  
医者の言うままされるまま任していました。

そこからです。私が体について興味を持ち始めたのは・・・

細かい話しは、ブログやメルマガで書くとしまして、今回はお題にもあるように  
「私がガンになったらこれをする／これをしない」について書いてみました。

これだけが正しいとは思いません。治療法はさまざまあります。今は波動医療という  
のもあり、調べればいくらでもあります。

でも、自己治癒力を信じておこなえば必ず良くなると思っています。

そもそもガンはどうして出来るのか？

本来であれば、その問いから進まなければならないのですが、ここから話したら紙面  
が全然足りませんので、詳しいお話しは今後セミナーやメルマガ等でお伝えして行き  
ますね。

でも一言で言うなら

血の汚れです。

人間の体はとてよく出来ていて、多少汚いものが(体に不必要なものが)入っても腎  
臓や肝臓などで解毒してくれるのですが、それでは間に合わないのです、ある一部をガ  
ン化するのです。させるのです、と言った方が適切かもしれません。

もう一つキーワードを言うなら、ガンは転移すると言いますが転移ではないのです。。

この辺の話しもセミナー等でお伝えしますね。

それでは、「私がガンになったらこれをする／これをしない」をお伝えします。  
意外と、なんだこんなこと？と思われるかもしれません。。。実はやることはシンプル  
なのですね。

## 【私がガンになったらコレをする／コレをしない】

ガンという病気に対して、多くの人が最初に頼るのは病院の検査や治療です。しかし、私の場合、基本的に病院には行かないため、ガンと診断されることはありません。それでも、もしも自分がガンになったと仮定した場合、私を取るべきステップは以下の通りです。なお、私は3大治療法(手術・放射線・化学療法)は絶対に選びません。

### 1. 塩の摂取を強化する

まず、最も重要なことは「良質の焼塩」を1日大さじ2杯摂ることです。焼塩は、酸化した身体をアルカリ性に戻す役割があり、これがガンに対抗するための重要なステップとなります。塩はただの調味料ではなく、身体ミネラルバランスを整え、体内の浄化を促進するための基本です。

### 2. 動物性食品の除去

次に、肉や魚介類の摂取を完全にやめます。特にこれらの食品には薬品や化学物質が含まれていることが多いため、身体に負担がかかる可能性が高いです。自然な治療を目指すためには、体内に余計な化学物質を入れないことが大切です。

### 3. 無農薬野菜を摂取

食べ物は、無農薬の野菜を中心に寄り寄せて、これを基本とします。身体に入れるものはできるだけ自然のものを選び、体内の浄化をサポートします。

### 4. 食事の頻度は1日1食

食事の頻度を減らすことも重要です。基本的には1日1食にし、消化の負担を減らし、身体が治癒に集中できるようにします。食べないことで、体内のエネルギーを回復や浄化に向けることができ、自然な治癒力が高まります。

### 5. 生の野菜や果物の摂取

食事の内容は、酵素を多く含む生の野菜や果物を中心に摂ります。酵素は体内での消化を助け、細胞の再生や修復を促す重要な役割を果たします。

### 6. 小麦、乳製品、甘い物(お菓子など)を食べない

この3つはガンの人には御法度です。ガンを治すには綺麗な血液を毎日作ること。残念ながらこの3つは綺麗な血液を作れません。

## 7. 酵素玄米ご飯と味噌汁

主食としては、酵素玄米ご飯を食べ、味噌汁は塩と味噌だけで作ります。出汁は入れなくても、塩と味噌の力で十分に美味しく、健康的な味噌汁になります。このシンプルな食事は体を整える効果があります。

## 8. 塩を飲む

さらに、塩を直接飲む方法も実践します。小さじ半分程度の塩を口に入れ、水やジュースで飲みます。この方法は最初は少量から始めるのが良く、慣れてきたら量を増やしていきます。塩を体に取り込むことで、体内のミネラルバランスを保ち、体調を整えます。

## 9. 身体の解毒を促進

還元塩を摂ることで、身体の酸化を防ぎ、アルカリ性の状態を保ちます。これにより、ガン細胞の増殖が抑えられ、身体の自然治癒力が働きやすい環境が整います。

## 10. ストレスの管理

ストレスはガンを含む多くの病気の原因の一つです。そこで、毎日気持ち良く過ごすことが重要です。好きなことを積極的に行い、心身ともにリラックスすることで、免疫力を高めます。

## 11. 深呼吸とストレッチ

深呼吸とストレッチも忘れずに行います。これにより、血流が良くなり、酸素が体内に行き渡ります。酸素は細胞の修復に欠かせないものであり、血液循環を促進することで、全身の健康が維持されます。

## 12. 好転反応

治療を始めると、必ず好転反応が現れます。下痢や頻尿が続くかもしれませんが、これは身体が毒素を排出している証拠です。また、身体が怠くなったり、眠気や痛み、かゆみが出ることもあります。これらは、身体が自然に治癒を始めているサインなので、安心してそのプロセスを見守ります。

### 13. 夜中に治癒が進む

夜中に特に治癒が進むことが多く、眠れないこともあるかもしれません。その場合は、眠れるときにしっかりと休み、身体の回復をサポートします。

### 14. 体感できる変化

治療を始めてから2ヶ月ほど経てば、身体の変化を実感できるようになります。もし検査に行く人であれば、その時にはガンが消えていることが確認できるかもしれません。しかし、病院に行かなくても、体調が良くなっていけば、それが何よりの証拠です。

### 15. 自己管理

病院に行かずに、自分で体調を管理する場合は、体調が悪くなったときに何が原因かを考えます。農薬や添加物、ストレスが原因であることに気づければ、その対処法も自分で見つけられます。

### 16. 塩のミネラルの重要性

最終的に、一番大切なことは、塩のミネラルが身体の機能を正常に保ってくれるということです。良質な塩を摂り続けることで、身体の浄化が進み、自然な治癒力が働き、ガンを含むさまざまな病気に対しても強くなれます。

### 17. 体を温める

体を温めることは、ガンをはじめとする多くの病気に対して非常に重要です。低体温は全ての病の原因となると言われており、体温が36.5度以上であることが健康の基本です。体が冷えると血液の流れが悪くなり、免疫力が低下してしまいます。ガン細胞は低体温の環境で増殖しやすいため、体を温めて体温を上げることがガン治療において非常に効果的です。

### 18. ガンが寛解するイメージを頻繁にする

実はイメージの力は莫大です。むしろこれが一番大事で強力かもしれません。ポイントはただイメージするだけでなく、感情を伴うイメージがとても大切となります。治るイメージだけではなく、治ったら何をしているのか／誰と過ごしているのかなど治った先のイメージをリアルに鮮明に感情付きでイメージすることです。

結論として、ガンになっても恐れることはありません。良質な塩と自然な食生活を取り入れ、ストレスを管理し、身体の自然な治癒力を最大限に引き出すことで、ガンも自然に治っていきます。

## 追伸

ガンはあなたを滅ぼすために出来たものではありません。むしろその逆です。あなたを守るための救済処置なのです。体(血液)が汚れ過ぎて腎臓／肝臓だけでは綺麗に出来ないので、どこかをガン化させて一手に汚れた血を受け入れるのです。それが間に合わなくて、また別なところをガン化させるのです。コレが俗にいう転移です。転移という言葉は本来適当ではないんですね。ですから、手術でガン化したところを切除しても、その人の生活が変わらなければ、またガンがどこかに出来ます。コレを世間では再発と言っています。ガンのイメージは相変わらず恐怖ですが、もし、あなたがガンになったら冷静に調べて欲しいのですが、調べるのは優秀なお医者さんではありません。お医者さんに行かずに治った人の話を調べることです。末期だった人が寛解している事例は実はたくさんあるのです。それを調べると必ず共通項が出てきます。大事なのは自己免疫力の素晴らしさに気づくことです。この元々いる(持っている)自己免疫力が、もっと言うならば自己免疫力があなたが救うことができるのです。上記に挙げたこと(やること／やらないこと)は、全て自己免疫力を上げることばかりなのです。いつの日か、コレ(ガン)をテーマに講座をやる時はぜひご参加ください。真実を知ると不安がなくなります。

髪と体のヘルスコンサルタント

小熊幸司